

インターネット・携帯電話について

インターネットや携帯電話は、離れた人と手軽に連絡を取り合える便利さがある一方で、正しく情報を伝える難しさがあります。子どもたちの携帯電話の利用に伴うトラブルの多くは、メールやSNS*1によるものです。

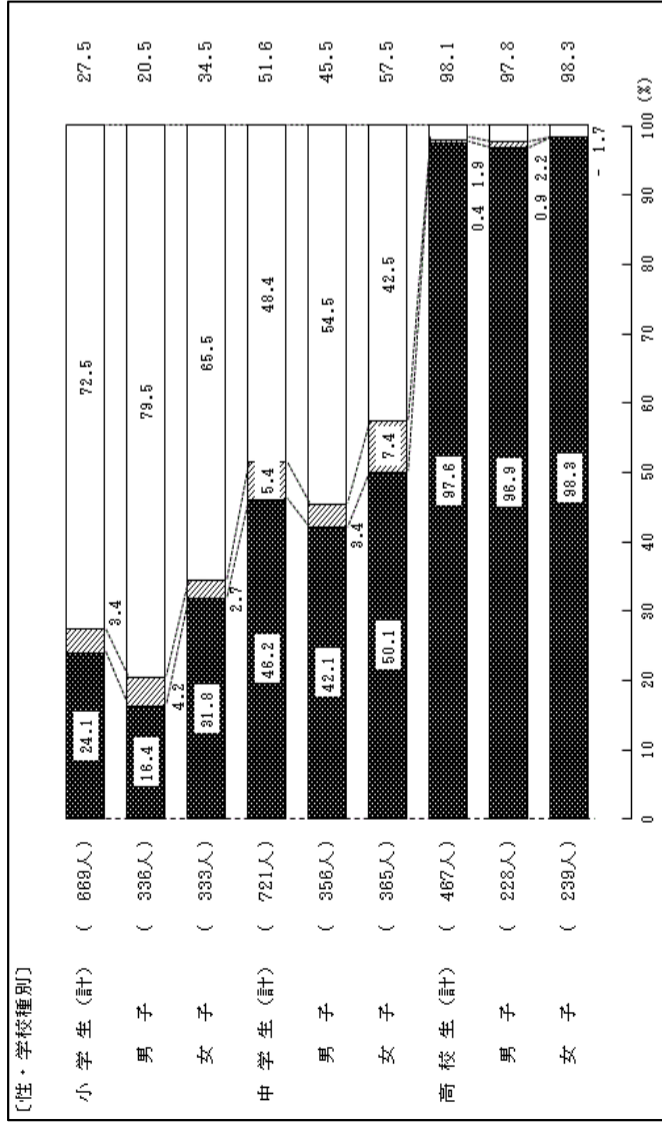
高い利便性を得る一方、児童生徒が、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等の利用などを通じて、長時間利用による生活習慣の乱れや不適切な利用によるいわゆる「ネット依存」や、ネット詐欺・不正請求などの「ネット被害」、SNSによるトラブルなど、新たな問題が生じています。

また、利用が保護者から見えにくく、ネット上でのいじめなどへ展開するケースも見受けられます。子どもに携帯電話などを持たせる場合は、家庭でのルールづくりはもちろん、ペアレンタルコントロール*2などを設定し、ネット上のトラブルに巻き込まれないように保護者自身も防衛する必要があります。

*1 SNSと呼ばれる(ソーシャル・ネットワーク・サービス)として、mixi、GREE、Moogle、Ameba、Facebook、Twitterなどがある。

*2ペアレンタルコントロールとは、子供が教育上望ましくない情報にアクセスしないように親が監視し、制限をかけることである。または、そのための機能やサービスのことである。特定のWebサイトをブラックリストに登録してアクセスできないようにする方法や、性や暴力などに関する不適切な言葉を含んだコンテンツをフィルタリングによって排除する方法などがある。

携帯電話の所有状況(全国平均)



内閣府2014年3月31日付【2013年度版 青少年のインターネット利用環境実態調査】

保護者の意見(抜粋)

- ・携帯を持っていないとダメみたいな空気があるようですが、私は必要ないと思っております。
- ・それぞれの学校で携帯電話を持っている割合が気になります。
- ・ゲームの使用ルールを決めるのに、基準があればと思います。
- ・友達に携帯を持ちだし、本人も意識して持っている様ですが、トラブルなどについても話しています。
- ・安心安全のため携帯を購入したが、学校へ持たせてもいいのか。

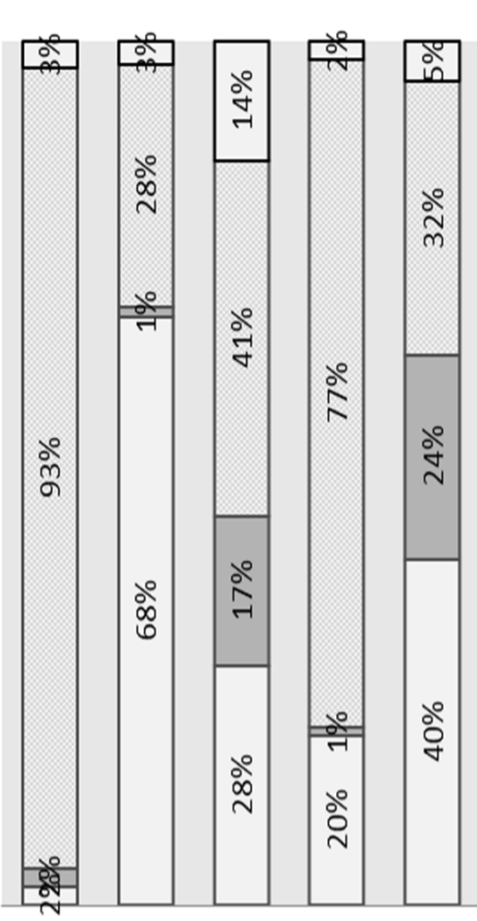
携帯電話やゲームなどでインターネット上のトラブルはありましたか。

通信機能のついたゲーム機をお持ちですか。

携帯電話のルールをきめていますか。

お子さんは携帯電話をお持ちですか。

おうちでインターネットのルールを決めていますか。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□はい □どちらでもない □いいえ □無回答

現状と課題

インターネットや携帯電話でのトラブルについては、増加する傾向がある。多くが家庭でのルールづくりがなされていないという調査結果がある。

また、学校では、学習支援のツールとしてインターネットを活用している。学校での活用は、フィルタリング*3を強化しており、ほとんどの不適切な情報へのアクセスはカットされている。

しかし、家庭のパソコンや携帯電話などのフィルタリングについては家族との共有も考え、低く設定されているケースが予想される。

家庭での利用については、ペアレンタルコントロールの設定など、持たせる保護者の責任で取り組んでいくことやそのための取り組みが重要である。

*3フィルタリング

有害サイトへのアクセスを制限サービス。ネット事業者や携帯各社でもサービスを展開している。

また、平成25年11月14日警察庁のコミュニケーションサイトに起因する児童被害の事犯に係る調査結果では、被害にあった児童の9割がフィルタリング未加入との結果が出ている。

今後の取り組み

児童へのインターネットの適切な利用については、様々な機会を通じて指導を図っている。特に、今年度より取り組んでいる「金銭・金融教育」と関連してネット社会の利便性・危険性を学ばすことを中心に実施をしている。

また、PTAの調査結果から、課題を整理し、啓発活動を実施する必要がある。そのために保護者対象の研修会を計画していきたい。

学校では、児童に向けて「ネット依存」に関するものをはじめ、「ネット詐欺・不正請求などの被害」、「SNS等によるトラブル」、「適切なコミュニケーションの選択と対人関係方法」など、学年に応じた指導を計画している。